

【表紙】

【提出書類】 四半期報告書

【根拠条文】 金融商品取引法第24条の4の7第1項

【提出先】 東海財務局長

【提出日】 2021年10月14日

【四半期会計期間】 第111期第2四半期(自 2021年6月1日 至 2021年8月31日)

【会社名】 タキヒヨー株式会社

【英訳名】 Takihyo Co., Ltd.

【代表者の役職氏名】 代表取締役社長執行役員 滝 一 夫

【本店の所在の場所】 名古屋市西区牛島町6番1号

【電話番号】 052(587)7111(代表)

【事務連絡者氏名】 経営企画セクションリーダー 横 山 和 仁

【最寄りの連絡場所】 名古屋市西区牛島町6番1号

【電話番号】 052(587)7111(代表)

【事務連絡者氏名】 経営企画セクションリーダー 横 山 和 仁

【縦覧に供する場所】 タキヒヨー株式会社東京支店  
(東京都中央区銀座六丁目10番1号)

タキヒヨー株式会社大阪支店  
(大阪市中央区久太郎町四丁目1番3号)

株式会社東京証券取引所  
(東京都中央区日本橋兜町2番1号)

株式会社名古屋証券取引所  
(名古屋市中区栄三丁目8番20号)

## 第一部 【企業情報】

### 第1 【企業の概況】

#### 1 【主要な経営指標等の推移】

回次		第110期 第2四半期連結 累計期間	第111期 第2四半期連結 累計期間	第110期
会計期間		自 2020年3月1日 至 2020年8月31日	自 2021年3月1日 至 2021年8月31日	自 2020年3月1日 至 2021年2月28日
売上高	(百万円)	22,970	26,903	50,042
経常損失( )	(百万円)	632	449	770
親会社株主に帰属する 四半期(当期)純損失( )	(百万円)	726	563	1,121
四半期包括利益又は包括利益	(百万円)	811	542	826
純資産額	(百万円)	31,593	30,663	31,404
総資産額	(百万円)	44,457	44,108	44,673
1株当たり四半期(当期)純損失( )	(円)	77.86	60.94	120.36
潜在株式調整後1株当たり 四半期(当期)純利益	(円)			
自己資本比率	(%)	70.5	69.0	69.8
営業活動による キャッシュ・フロー	(百万円)	449	958	630
投資活動による キャッシュ・フロー	(百万円)	51	117	111
財務活動による キャッシュ・フロー	(百万円)	2,272	333	1,215
現金及び現金同等物の 四半期末(期末)残高	(百万円)	5,162	3,182	3,877

回次		第110期 第2四半期連結 会計期間	第111期 第2四半期連結 会計期間
会計期間		自 2020年6月1日 至 2020年8月31日	自 2021年6月1日 至 2021年8月31日
1株当たり四半期純損失( )	(円)	51.11	75.39

- (注) 1. 当社は四半期連結財務諸表を作成しておりますので、提出会社の主要な経営指標等の推移については記載しておりません。
2. 売上高には、消費税等は含まれておりません。
3. 潜在株式調整後1株当たり四半期(当期)純利益については、潜在株式は存在するものの1株当たり四半期(当期)純損失であるため、記載しておりません。

#### 2 【事業の内容】

当第2四半期連結累計期間において、当社及び当社の関係会社が営む事業の内容について、重要な変更はありません。

また、主要な関係会社についても異動はありません。

## 第2 【事業の状況】

### 1 【事業等のリスク】

当第2四半期連結累計期間における、当四半期報告書に記載した事業の状況、経理の状況等に関する事項のうち、経営者が連結会社の財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況に重要な影響を与える可能性があると認識している主要なリスクの発生又は前事業年度の有価証券報告書に記載した「事業等のリスク」についての重要な変更はありません。

### 2 【経営者による財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況の分析】

文中の将来に関する事項は、当四半期連結会計期間の末日現在において当社グループが判断したものであります。

#### (1) 経営成績の状況

当第2四半期連結累計期間については、新型コロナウイルス感染症拡大に伴う断続的な緊急事態宣言の発令の影響が続き、衣料品に対する支出は、依然としてコロナ前の水準を下回る状況が続いております。

今年度当社は、「既存卸売ビジネスの挽回」、「小売り事業の強化」、「特長ある商品群の企画・提案」、「異業種との協業」の4つを重点施策に掲げ業績挽回に取り組んでいるところであります。

こうした中で、大手量販店との協業によるファミリー層向け新ブランドのスタート、ゴルフウェア小売事業でのブランド拡充による売上増加、欧州ブランド向け生地輸出の復調、イタリアの自然派コスメ「レルボラリオ」の独占販売開始など、成果につながる事業がある一方で、コア事業である既存卸売ビジネスは、売上高こそ回復しつつあるものの、収益面においては、引き続き厳しい状況が続いております。

当第2四半期連結累計期間の売上高は、26,903百万円（前年同期比17.1%増）となりましたが、損益面においては、原料高騰に加え、ASEAN諸国のロックダウンの影響で生産を中国に再びシフトせざるを得なかったことに伴うキャパシティオーバーや得意先の短納期、低価格の要請によるコストアップを主因として、営業損失は548百万円（前年同期は営業損失699百万円）、経常損失は449百万円（前年同期は経常損失632百万円）、親会社株主に帰属する四半期純損失は563百万円（前年同期は純損失726百万円）となり、赤字幅は縮小したものの、黒字転換には至りませんでした。

当第2四半期連結累計期間におけるセグメントの業績は、次のとおりであります。

#### アパレル・テキスタイル関連事業

売上高は23,820百万円（前年同期比17.9%増）となりましたが、原料高騰に加え、ASEAN諸国のロックダウンの影響で生産を中国に再シフトしたことによりコストが上昇し、営業損失は775百万円（前年同期は営業損失920百万円）となりました。

#### 賃貸事業

売上高は422百万円（前年同期比1.9%増）、営業利益は279百万円（前年同期比1.4%増）となりました。

#### その他

合成樹脂・化成成品販売を行うマテリアル事業の増収や、他社からの物流作業の取り込みなどにより、売上高は2,659百万円（前年同期比13.1%増）、営業損失は54百万円（前年同期は営業損失56百万円）となりました。

#### (2) 財政状態の分析

##### 資産

流動資産は、前連結会計年度末比562百万円減少し、18,267百万円となりました。これは主として、たな卸資産が346百万円増加しましたが、現金及び預金が570百万円、受取手形及び売掛金が389百万円減少したことなどによるものであります。

固定資産は、前連結会計年度末比1百万円減少し、25,841百万円となりました。これは主として、無形固定資産が34百万円、投資有価証券が63百万円増加しましたが、有形固定資産が17百万円、長期差入保証金が84百万円減少したことなどによるものであります。

この結果、総資産は、前連結会計年度末比564百万円減少し、44,108百万円となりました。

##### 負債

負債は、前連結会計年度末比176百万円増加し、13,445百万円となりました。これは主として、支払手形及び買掛金が472百万円減少しましたが、借入金が560百万円増加したことなどによるものであります。

#### 純資産

純資産は、前連結会計年度末比741百万円減少し、30,663百万円となりました。これは主として、利益剰余金が860百万円減少したことなどによるものであります。

### (3) キャッシュ・フローの状況の分析

当第2四半期連結累計期間における現金及び現金同等物（以下「資金」という）は、前連結会計年度末に比べ、695百万円（17.9%）減少の3,182百万円となりました。

#### （営業活動によるキャッシュ・フロー）

営業活動により減少した資金は、958百万円（前年同期は449百万円の減少）となりました。これは主に、売上債権が395百万円減少した一方で、税金等調整前四半期純損失が465百万円、たな卸資産が346百万円増加、仕入債務が472百万円減少したことによるものであります。

#### （投資活動によるキャッシュ・フロー）

投資活動により減少した資金は、117百万円（前年同期は51百万円の減少）となりました。これは主に、定期預金の預入による支出が124百万円となったことなどによるものであります。

#### （財務活動によるキャッシュ・フロー）

財務活動により増加した資金は、333百万円（前年同期は2,272百万円の増加）となりました。これは主に、長期借入金の返済による支出が400百万円となった一方で、短期借入金の増加額が960百万円となったことなどによるものであります。

### (4) 優先的に対処すべき事業上及び財務上の課題

当第2四半期連結累計期間において、当社グループの事業上及び財務上の対処すべき課題に重要な変更及び新たに生じた課題はありません。

### (5) 財務及び事業の方針の決定を支配する者の在り方に関する基本方針

当第2四半期連結累計期間において、財務及び事業の方針の決定を支配する者の在り方に関する基本方針について重要な変更はありません。

### (6) 研究開発活動

該当事項はありません。

### (7) 従業員数

当第2四半期連結累計期間において、連結会社又は提出会社の従業員数の著しい増減はありません。

### (8) 生産、受注及び販売の実績

当第2四半期連結累計期間において、生産、受注及び販売実績の著しい変動はありません。

### (9) 主要な設備

当第2四半期連結累計期間において、主要な設備の著しい変動はありません。

## 3 【経営上の重要な契約等】

当第2四半期連結会計期間において、経営上の重要な契約等の決定又は締結等はありません。

### 第3 【提出会社の状況】

#### 1 【株式等の状況】

##### (1) 【株式の総数等】

###### 【株式の総数】

種類	発行可能株式総数(株)
普通株式	24,000,000
計	24,000,000

###### 【発行済株式】

種類	第2四半期会計期間 末現在発行数(株) (2021年8月31日)	提出日現在 発行数(株) (2021年10月14日)	上場金融商品取引所名 又は登録認可金融 商品取引業協会名	内容
普通株式	9,500,000	9,500,000	東京証券取引所 市場第一部 名古屋証券取引所 市場第一部	単元株式数は100株であります。
計	9,500,000	9,500,000		

##### (2) 【新株予約権等の状況】

###### 【ストックオプション制度の内容】

該当事項はありません。

###### 【その他の新株予約権等の状況】

該当事項はありません。

##### (3) 【行使価額修正条項付新株予約権付社債券等の行使状況等】

該当事項はありません。

##### (4) 【発行済株式総数、資本金等の推移】

年月日	発行済株式 総数増減数 (株)	発行済株式 総数残高 (株)	資本金増減額 (百万円)	資本金残高 (百万円)	資本準備金 増減額 (百万円)	資本準備金 残高 (百万円)
2021年8月31日		9,500,000		3,622		4,148

(5) 【大株主の状況】

2021年8月31日現在

氏名又は名称	住所	所有株式数 (千株)	発行済株式 (自己株式を除く。)の 総数に対する所有 株式数の割合(%)
株式会社キョクヨーホールディングス	名古屋市天白区御幸山120-1	2,400	26.01
株式会社旭洋興産	名古屋市天白区御幸山120-1	420	4.56
株式会社三菱UFJ銀行	東京都千代田区丸の内2-7-1	258	2.80
第一生命保険株式会社	東京都千代田区有楽町1-13-1	240	2.60
タキヒヨー取引先持株会	名古屋市西区牛島町6-1 タキヒヨー取引先持株会事務局	217	2.36
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	東京都港区浜松町2-11-3	182	1.97
滝 茂 夫	名古屋市千種区	173	1.88
日本生命保険相互会社	東京都千代田区丸の内1-6-6	164	1.79
三井住友信託銀行株式会社	東京都千代田区丸の内1-4-1	120	1.30
株式会社中京銀行	名古屋市中区栄3-33-13	114	1.24
計		4,291	46.51

(注) 上記のほか当社所有の自己株式273千株があります。

(6) 【議決権の状況】

【発行済株式】

2021年8月31日現在

区分	株式数(株)	議決権の数(個)	内容
無議決権株式			
議決権制限株式(自己株式等)			
議決権制限株式(その他)			
完全議決権株式(自己株式等)	(自己保有株式) 普通株式 273,000		
完全議決権株式(その他)	普通株式 9,218,800	92,188	
単元未満株式	普通株式 8,200		
発行済株式総数	9,500,000		
総株主の議決権		92,188	

(注) 1. 「完全議決権株式(その他)」の普通株式には、証券保管振替機構名義の株式が500株(議決権5個)含まれております。

2. 「単元未満株式」の普通株式には、証券保管振替機構名義の株式84株及び当社保有の自己株式38株がそれぞれ含まれております。

【自己株式等】

2021年8月31日現在

所有者の氏名 又は名称	所有者の住所	自己名義 所有株式数 (株)	他人名義 所有株式数 (株)	所有株式数 の合計 (株)	発行済株式総数 に対する 所有株式数の割合(%)
(自己保有株式) タキヒヨー株式会社	名古屋市西区牛島町 6番1号	273,000		273,000	2.87
計		273,000		273,000	2.87

2 【役員の状況】

前事業年度の有価証券報告書提出日後、当四半期累計期間における役員の異動はありません。

## 第4 【経理の状況】

### 1．四半期連結財務諸表の作成方法について

当社の四半期連結財務諸表は、「四半期連結財務諸表の用語、様式及び作成方法に関する規則」(平成19年内閣府令第64号)に基づいて作成しております。

### 2．監査証明について

当社は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、第2四半期連結会計期間(2021年6月1日から2021年8月31日まで)及び第2四半期連結累計期間(2021年3月1日から2021年8月31日まで)に係る四半期連結財務諸表について、EY新日本有限責任監査法人による四半期レビューを受けております。

## 1 【四半期連結財務諸表】

## (1) 【四半期連結貸借対照表】

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2021年2月28日)	当第2四半期連結会計期間 (2021年8月31日)
<b>資産の部</b>		
<b>流動資産</b>		
現金及び預金	3,877	3,306
受取手形及び売掛金	10,083	9,694
たな卸資産	1 4,023	1 4,370
その他	857	907
貸倒引当金	11	11
流動資産合計	18,830	18,267
<b>固定資産</b>		
<b>有形固定資産</b>		
土地	16,803	16,803
その他(純額)	3,909	3,892
有形固定資産合計	20,713	20,696
無形固定資産	76	110
<b>投資その他の資産</b>		
投資有価証券	3,736	3,800
その他	1,395	1,312
貸倒引当金	78	79
投資その他の資産合計	5,053	5,033
固定資産合計	25,843	25,841
資産合計	44,673	44,108
<b>負債の部</b>		
<b>流動負債</b>		
支払手形及び買掛金	4,932	4,459
短期借入金	40	1,000
1年内返済予定の長期借入金	800	1,400
未払法人税等	100	121
引当金	114	114
その他	2,007	2,008
流動負債合計	7,994	9,103
<b>固定負債</b>		
長期借入金	3,275	2,275
退職給付に係る負債	29	54
役員退職慰労引当金	157	157
資産除去債務	207	208
その他	1,605	1,646
固定負債合計	5,274	4,341
負債合計	13,269	13,445



(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2021年2月28日)	当第2四半期連結会計期間 (2021年8月31日)
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	3,622	3,622
資本剰余金	4,148	4,148
利益剰余金	22,725	21,865
自己株式	646	549
株主資本合計	29,849	29,086
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	1,231	1,291
繰延ヘッジ損益	107	12
土地再評価差額金	0	0
為替換算調整勘定	50	7
退職給付に係る調整累計額	34	32
その他の包括利益累計額合計	1,323	1,344
新株予約権	231	231
純資産合計	31,404	30,663
負債純資産合計	44,673	44,108

## (2) 【四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書】

## 【四半期連結損益計算書】

## 【第2四半期連結累計期間】

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自2020年3月1日 至2020年8月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自2021年3月1日 至2021年8月31日)
売上高	22,970	26,903
売上原価	18,298	21,683
売上総利益	4,671	5,219
返品調整引当金繰入額	5	-
差引売上総利益	4,676	5,219
販売費及び一般管理費	1 5,375	1 5,768
営業損失( )	699	548
営業外収益		
受取利息	5	2
受取配当金	58	45
雇用調整助成金	3	32
その他	48	50
営業外収益合計	115	131
営業外費用		
支払利息	20	17
為替差損	16	-
支払手数料	9	11
その他	1	2
営業外費用合計	49	32
経常損失( )	632	449
特別利益		
投資有価証券売却益	56	-
固定資産売却益	-	0
特別利益合計	56	0
特別損失		
投資有価証券評価損	38	16
固定資産除却損	6	-
減損損失	2 42	-
特別損失合計	87	16
税金等調整前四半期純損失( )	663	465
法人税等	62	97
四半期純損失( )	726	563
親会社株主に帰属する四半期純損失( )	726	563

【四半期連結包括利益計算書】

【第2四半期連結累計期間】

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2020年3月1日 至 2020年8月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2021年3月1日 至 2021年8月31日)
四半期純損失( )	726	563
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	11	59
繰延ヘッジ損益	78	94
為替換算調整勘定	18	58
退職給付に係る調整額	0	1
その他の包括利益合計	85	21
四半期包括利益	811	542
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	811	542

## (3) 【四半期連結キャッシュ・フロー計算書】

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2020年3月1日 至 2020年8月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2021年3月1日 至 2021年8月31日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前四半期純損失( )	663	465
減価償却費	131	135
減損損失	42	-
貸倒引当金の増減額( は減少)	1	0
賞与引当金の増減額( は減少)	0	3
返品調整引当金の増減額( は減少)	5	-
役員退職慰労引当金の増減額( は減少)	19	-
退職給付に係る負債の増減額( は減少)	20	23
受取利息及び受取配当金	63	48
支払利息	20	17
無形固定資産除却損	2	-
投資有価証券売却損益( は益)	56	-
投資有価証券評価損益( は益)	38	16
有形固定資産除却損	3	-
売上債権の増減額( は増加)	2,382	395
たな卸資産の増減額( は増加)	267	346
仕入債務の増減額( は減少)	717	472
未払消費税等の増減額( は減少)	199	16
その他の資産の増減額( は増加)	212	208
その他の負債の増減額( は減少)	758	32
その他	0	0
小計	361	908
利息及び配当金の受取額	63	47
利息の支払額	22	15
法人税等の支払額	129	81
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>	<b>449</b>	<b>958</b>
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
定期預金の預入による支出	-	124
有形固定資産の取得による支出	119	44
投資有価証券の取得による支出	41	-
投資有価証券の売却による収入	127	-
貸付金の回収による収入	2	2
差入保証金の回収による収入	5	117
その他	25	68
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>	<b>51</b>	<b>117</b>

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2020年3月1日 至 2020年8月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2021年3月1日 至 2021年8月31日)
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
短期借入金の純増減額（は減少）	40	960
長期借入れによる収入	3,000	-
長期借入金の返済による支出	525	400
配当金の支払額	186	93
自己株式の取得による支出	27	106
その他	28	27
財務活動によるキャッシュ・フロー	2,272	333
現金及び現金同等物に係る換算差額	15	48
現金及び現金同等物の増減額（は減少）	1,756	695
現金及び現金同等物の期首残高	3,406	3,877
現金及び現金同等物の四半期末残高	5,162	3,182

【注記事項】

(継続企業の前提に関する事項)

該当事項はありません。

(追加情報)

(新型コロナウイルス感染症に関する会計上の見積り)

前連結会計年度の有価証券報告書の(追加情報)(新型コロナウイルス感染症に関する会計上の見積り)に記載した内容から重要な変更はありません。

(四半期連結貸借対照表関係)

1 たな卸資産の内訳

	前連結会計年度 (2021年2月28日)	当第2四半期連結会計期間 (2021年8月31日)
商品及び製品	3,868百万円	4,321百万円
仕掛品	31 "	17 "
原材料及び貯蔵品	123 "	32 "

2 債権流動化に伴う買戻義務

	前連結会計年度 (2021年2月28日)	当第2四半期連結会計期間 (2021年8月31日)
債権流動化に伴う買戻義務	48百万円	百万円

(四半期連結損益計算書関係)

1 販売費及び一般管理費のうち主要な費目及び金額は、次のとおりであります。

	前第2四半期連結累計期間 (自 2020年3月1日 至 2020年8月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2021年3月1日 至 2021年8月31日)
運賃諸掛	1,084百万円	1,192百万円
給料及び手当	2,009 "	2,116 "
賞与引当金繰入額	94 "	83 "
退職給付費用	88 "	85 "

2 減損損失

前第2四半期連結累計期間(自 2020年3月1日 至 2020年8月31日)

当社グループは以下の資産グループについて減損損失を計上いたしました。

場所	主な用途	種類	金額(百万円)
愛知県他	事業用資産	建物等	42

当社グループは、事業の区分をもとに概ね独立したキャッシュ・フローを生み出す最小の単位に基づき資産のグルーピングをしております。アパレル・テキスタイル関連事業の一部の事業用資産等については、帳簿価額を回収可能額まで減額し、特別損失に計上しております。

なお、回収可能価額は正味売却価額により測定しており、不動産鑑定評価額から処分費用見込み額を控除して算定しております。

当第2四半期連結累計期間(自 2021年3月1日 至 2021年8月31日)

該当事項はありません。

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書関係)

現金及び現金同等物の四半期末残高と四半期連結貸借対照表に掲記されている科目の金額との関係は次のとおりであります。

	前第2四半期連結累計期間 (自 2020年3月1日 至 2020年8月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2021年3月1日 至 2021年8月31日)
現金及び預金	5,162百万円	3,306百万円
預入期間が3か月を超える定期預金	〃	124 〃
現金及び現金同等物	5,162百万円	3,182百万円

(株主資本等関係)

前第2四半期連結累計期間(自 2020年3月1日 至 2020年8月31日)

1. 配当金支払額

決議	株式の種類	配当金の総額 (百万円)	1株当たり 配当額(円)	基準日	効力発生日	配当の原資
2020年5月27日 定時株主総会	普通株式	186	20.00	2020年2月29日	2020年5月28日	利益剰余金

2. 基準日が当第2四半期連結累計期間に属する配当のうち、配当の効力発生日が当第2四半期連結会計期間の末日  
後となるもの

決議	株式の種類	配当金の総額 (百万円)	1株当たり 配当額(円)	基準日	効力発生日	配当の原資
2020年10月9日 取締役会	普通株式	93	10.00	2020年8月31日	2020年11月4日	利益剰余金

当第2四半期連結累計期間(自 2021年3月1日 至 2021年8月31日)

1. 配当金支払額

決議	株式の種類	配当金の総額 (百万円)	1株当たり 配当額(円)	基準日	効力発生日	配当の原資
2021年5月26日 定時株主総会	普通株式	92	10.00	2021年2月28日	2021年5月27日	利益剰余金

2. 基準日が当第2四半期連結累計期間に属する配当のうち、配当の効力発生日が当第2四半期連結会計期間の末日  
後となるもの

決議	株式の種類	配当金の総額 (百万円)	1株当たり 配当額(円)	基準日	効力発生日	配当の原資
2021年10月11日 取締役会	普通株式	92	10.00	2021年8月31日	2021年11月8日	利益剰余金

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

前第2四半期連結累計期間(自 2020年3月1日 至 2020年8月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

	報告セグメント			その他 (百万円)	合計 (百万円)	調整額 (百万円)	四半期連結損益 計算書計上額 (百万円)
	アパレル・ テキスタイル 関連事業 (百万円)	賃貸事業 (百万円)	計 (百万円)				
売上高							
外部顧客への 売上高	20,204	414	20,619	2,350	22,970		22,970
セグメント間の 内部売上高 又は振替高		33	33	5	39	39	
計	20,204	448	20,652	2,356	23,009	39	22,970
セグメント利益 又は損失( )	920	275	645	56	701	2	699

(注) 1. 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、合成樹脂・化成品販売事業等を含んでおります。

2. セグメント利益又は損失の調整額2百万円は、セグメント間取引消去等2百万円であります。

3. セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれんに関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

「アパレル・テキスタイル関連事業」セグメントにおいて、固定資産の減損損失を計上しております。なお、当該減損損失の計上額は、当第2四半期連結累計期間において42百万円であります。

当第2四半期連結累計期間(自 2021年3月1日 至 2021年8月31日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

	報告セグメント			その他 (百万円)	合計 (百万円)	調整額 (百万円)	四半期連結損益 計算書計上額 (百万円)
	アパレル・ テキスタイル 関連事業 (百万円)	賃貸事業 (百万円)	計 (百万円)				
売上高							
外部顧客への 売上高	23,820	422	24,243	2,659	26,903		26,903
セグメント間の 内部売上高 又は振替高	0	37	37	13	51	51	
計	23,821	460	24,281	2,672	26,954	51	26,903
セグメント利益 又は損失( )	775	279	496	54	550	2	548

(注) 1. 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、合成樹脂・化成品販売事業等を含んでおります。

2. セグメント利益又は損失の調整額2百万円は、セグメント間取引消去等2百万円であります。

3. セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。



(1株当たり情報)

1株当たり四半期純損失及び算定上の基礎は、以下のとおりであります。

項目	前第2四半期連結累計期間 (自 2020年3月1日 至 2020年8月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2021年3月1日 至 2021年8月31日)
1株当たり四半期純損失( )	77円86銭	60円94銭
(算定上の基礎)		
親会社株主に帰属する四半期純損失( )(百万円)	726	563
普通株主に帰属しない金額(百万円)		
親会社株主に帰属する四半期純損失( )(百万円)	726	563
普通株式の期中平均株式数(千株)	9,330	9,252
希薄化効果を有しないため、潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額の算定に含めなかった潜在株式で、前連結会計年度末から重要な変動があったものの概要		

(注) 潜在株式調整後1株当たり四半期純利益について、潜在株式は存在するものの、1株当たり四半期純損失であるため記載しておりません。

(重要な後発事象)

(自己株式の取得)

当社は、2021年10月11日開催の取締役会において、会社法第165条第3項の規定により読み替えて適用される同法第156条の規定に基づき、自己株式取得に係る事項を決議しました。

- (1) 自己株式の取得を行う理由 資本効率の改善及び株主への利益還元の上昇を目的として、自己株式を取得するものであります。
- (2) 取得対象株式の種類 当社普通株式
- (3) 取得し得る株式の総数 150,000株(上限)  
(発行済株式総数(自己株式を除く)に対する割合1.63%)
- (4) 株式の取得価額の総額 3億円(上限)
- (5) 取得期間 2021年10月12日～2022年6月30日

2 【その他】

2021年10月11日開催の取締役会において、第111期中間配当に関し、次のとおり決議いたしました。

中間配当による配当金の総額	92百万円
1株当たりの金額	10円00銭
支払請求権の効力発生日及び支払開始日	2021年11月8日

(注) 2021年8月31日現在の株主名簿に記録された株主に対し、支払いを行います。

## 第二部 【提出会社の保証会社等の情報】

該当事項はありません。

## 独立監査人の四半期レビュー報告書

2021年10月14日

タキヒヨー株式会社  
取締役会 御中

### EY新日本有限責任監査法人 名古屋事務所

指定有限責任社員  
業務執行社員 公認会計士 高橋 浩彦

指定有限責任社員  
業務執行社員 公認会計士 水野 大

#### 監査人の結論

当監査法人は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、「経理の状況」に掲げられているタキヒヨー株式会社の2021年3月1日から2021年8月31日までの連結会計年度の第2四半期連結会計期間（2021年3月1日から2021年8月31日まで）及び第2四半期連結累計期間（2021年3月1日から2021年8月31日まで）に係る四半期連結財務諸表、すなわち、四半期連結貸借対照表、四半期連結損益計算書、四半期連結包括利益計算書、四半期連結キャッシュ・フロー計算書及び注記について四半期レビューを行った。

当監査法人が実施した四半期レビューにおいて、上記の四半期連結財務諸表が、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して、タキヒヨー株式会社及び連結子会社の2021年8月31日現在の財政状態並びに同日をもって終了する第2四半期連結累計期間の経営成績及びキャッシュ・フローの状況を適正に表示していないと信じさせる事項が全ての重要な点において認められなかった。

#### 監査人の結論の根拠

当監査法人は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期レビューの基準に準拠して四半期レビューを行った。四半期レビューの基準における当監査法人の責任は、「四半期連結財務諸表の四半期レビューにおける監査人の責任」に記載されている。当監査法人は、我が国における職業倫理に関する規定に従って、会社及び連結子会社から独立しており、また、監査人としてのその他の倫理上の責任を果たしている。当監査法人は、結論の表明の基礎となる証拠を入手したと判断している。

#### 四半期連結財務諸表に対する経営者及び監査等委員会の責任

経営者の責任は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して四半期連結財務諸表を作成し適正に表示することにある。これには、不正又は誤謬による重要な虚偽表示のない四半期連結財務諸表を作成し適正に表示するために経営者が必要と判断した内部統制を整備及び運用することが含まれる。

四半期連結財務諸表を作成するに当たり、経営者は、継続企業の前提に基づき四半期連結財務諸表を作成することが適切であるかどうかを評価し、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に基づいて継続企業に関する事項を開示する必要がある場合には当該事項を開示する責任がある。

監査等委員会の責任は、財務報告プロセスの整備及び運用における取締役の職務の執行を監視することにある。

#### 四半期連結財務諸表の四半期レビューにおける監査人の責任

監査人の責任は、監査人が実施した四半期レビューに基づいて、四半期レビュー報告書において独立の立場から四半期連結財務諸表に対する結論を表明することにある。

監査人は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期レビューの基準に従って、四半期レビューの過程を通じて、職業的専門家としての判断を行い、職業的懐疑心を保持して以下を実施する。

- 主として経営者、財務及び会計に関する事項に責任を有する者等に対する質問、分析的手続その他の四半期レビュー手続を実施する。四半期レビュー手続は、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に準拠して実施される年度の財務諸表の監査に比べて限定された手続である。
- 継続企業の前提に関する事項について、重要な疑義を生じさせるような事象又は状況に関して重要な不確実性が認められると判断した場合には、入手した証拠に基づき、四半期連結財務諸表において、我が国において一般に公

正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して、適正に表示されていないと信じさせる事項が認められないかどうか結論付ける。また、継続企業の前提に関する重要な不確実性が認められる場合は、四半期レビュー報告書において四半期連結財務諸表の注記事項に注意を喚起すること、又は重要な不確実性に関する四半期連結財務諸表の注記事項が適切でない場合は、四半期連結財務諸表に対して限定付結論又は否定的結論を表明することが求められている。監査人の結論は、四半期レビュー報告書日までに入手した証拠に基づいているが、将来の事象や状況により、企業は継続企業として存続できなくなる可能性がある。

- ・ 四半期連結財務諸表の表示及び注記事項が、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠していないと信じさせる事項が認められないかどうかとともに、関連する注記事項を含めた四半期連結財務諸表の表示、構成及び内容、並びに四半期連結財務諸表が基礎となる取引や会計事象を適正に表示していないと信じさせる事項が認められないかどうかを評価する。
- ・ 四半期連結財務諸表に対する結論を表明するために、会社及び連結子会社の財務情報に関する証拠を入手する。監査人は、四半期連結財務諸表の四半期レビューに関する指示、監督及び実施に関して責任がある。監査人は、単独で監査人の結論に対して責任を負う。

監査人は、監査等委員会に対して、計画した四半期レビューの範囲とその実施時期、四半期レビュー上の重要な発見事項について報告を行う。

監査人は、監査等委員会に対して、独立性についての我が国における職業倫理に関する規定を遵守したこと、並びに監査人の独立性に影響を与えると合理的に考えられる事項、及び阻害要因を除去又は軽減するためにセーフガードを講じている場合はその内容について報告を行う。

#### 利害関係

会社及び連結子会社と当監査法人又は業務執行社員との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。

以 上

- 
- (注) 1. 上記は四半期レビュー報告書の原本に記載された事項を電子化したものであり、その原本は当社（四半期報告書提出会社）が別途保管しております。
2. XBRLデータは四半期レビューの対象には含まれていません。